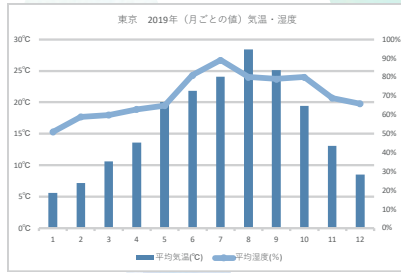


クセに悩むお客さまが増加する「梅雨」到来！

高温多湿の国である日本では5～8月にかけて温度と湿度が高くなります。特に雨が続く梅雨の時期には、「髪がまとまらない」「ボリュームが出て広がる」「うねる」など、扱いづらくなる髪に悩んでおられるお客さまの来店が多くなるのではないのでしょうか。そういったお客さまに提案する縮毛矯正施術にはクセを伸ばすという大きなメリットがある反面、いくつかのデメリットも存在するため、最近では利用者が減少傾向にあります。



気象庁ホームページより



縮毛矯正におけるデメリット

1. 毛髪のダメージ
2. 自然な仕上がりにならない
3. 施術後のウェーブパーマやカラーへの影響

キャラデコ クイックプレックス & マークコンティは縮毛矯正特有のそれぞれのデメリットに対応します

1. 毛髪のダメージ



“グルコン酸誘導体”^{*1}
毛髪内部のケラチン繊維に定着し補修します。

“マレイン酸誘導体（アニオン性高分子）”^{*2}
毛髪外部のタンパク質の酸化ダメージを抑制・補修します。

^{*1} ヒドロキシプロピルグルコナミド
^{*2} (メチルビニルエーテル/マレイン酸) コポリマー

Straightperm for Flexible Design

MARCCONTI

“AA スムーサー”^{*3}

アミノ酸誘導体粒子により、毛髪が直に熱の影響を受けることを軽減します。

“CMC 類似成分”^{*4}

ダメージによって硬くなった髪をしなやかにします。

“PPT”

加水分解 PPT^{*5} & ヒートアクティブ PPT^{*6} により、ダメージを補修、チリつきを抑えます。

^{*3} ミリスチルメチルタウリン Na
^{*4} 吸着精製ラニン (ラニン)
^{*5} 加水分解ケラチン (加水分解ケラチン (羊毛)、加水分解シルク液)
^{*6} N-[2-ヒドロキシ-3-[3-(ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル]加水分解シルク ((ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ) ヒドロキシプロピル加水分解シルク
N-[2-ヒドロキシ-3-[3-(ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル]加水分解ケラチン ((ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ) ヒドロキシプロピル加水分解ケラチン
※[ヒートアクティブ/HEATACTIVE]は株式会社成和化成の登録商標です。

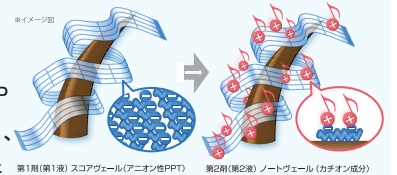
2. 自然な仕上がりにならない

Straightperm for Flexible Design

MARCCONTI

“メロディヴェール”

第1剤（第1液）に配合のスコアヴェール^{*7}（アニオン性 PPT）が毛髪をやさしく包み込み、第2剤（第2液）に配合の柔らかくコンディショニング成分であるノートヴェール^{*8}（カチオン性成分）が結合します。柔らかく滑らかな手触り感を与え、自然な仕上がりになります。



^{*7} 加水分解ケラチン液 (加水分解ケラチン (羊毛)、加水分解シルク液)
^{*8} エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム (2) (クオタニウム-33) 塩化アルキルトリメチルアンモニウム液 (ベントリモニウムクロリド)

3. 施術後のウェーブパーマやカラーへの影響

Straightperm for Flexible Design

MARCCONTI

縮毛矯正剤のような強い薬剤に熱処理も加わると、シスチン結合が切断されるだけでなく、ランチオンという物質が生成され過度のダメージにつながることもあり、パーマがかかりづらくなったり、カラーでは思い通りの色味にならないこともあります。マークコンティでは第1剤（第1液）に配合のスコアヴェールがランチオンの生成を抑制します。

客単価・顧客満足度UPメニュー

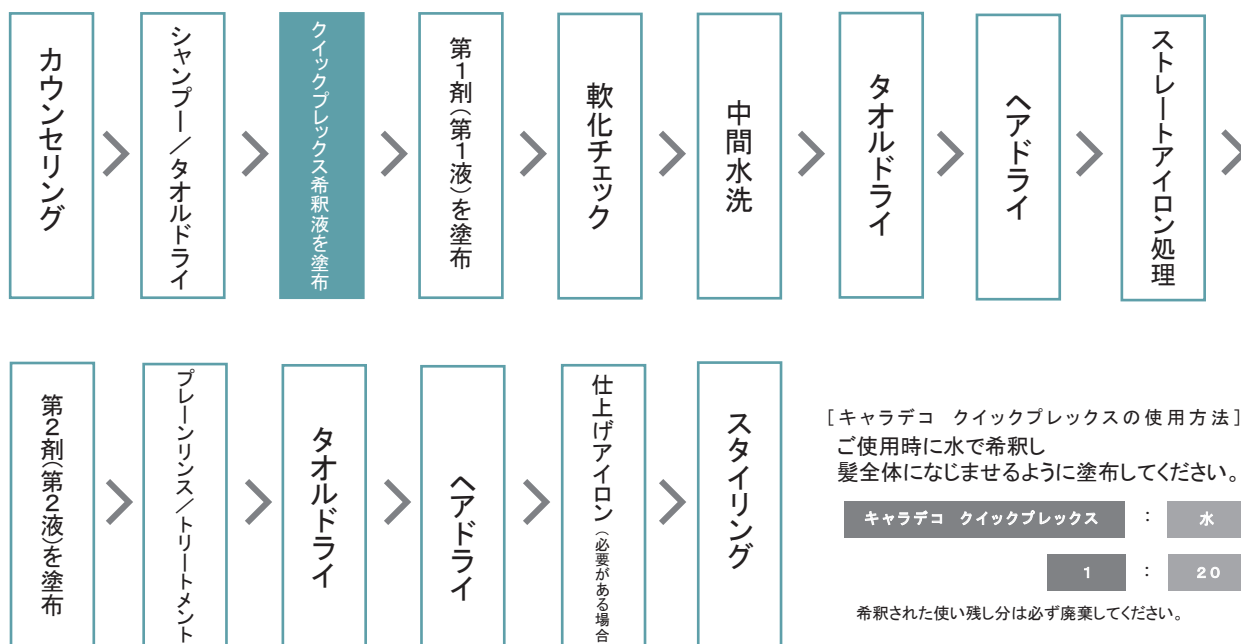
メニュー展開例 (縮毛矯正)

使用ポイント : キャラデコ クイックプレックスを前処理に使用

※キャラデコ クイックプレックス : 水 = 1:20

メニュー料金設定 : 通常ストレート料金+1,000~2,000円

プロセス



商品詳細

caradeco
quickplex

ブリーチ/ヘアカラー/縮毛矯正/パーマなどの施術前にご使用いただく前処理用アイテムです。グルコン酸誘導体¹とマレイン酸誘導体²が毛髪を補修します。

[毛髪補修成分]

*1 ヒドロキソプロピルグルコナミド

*2 (メチルビコルエーテル/マレイン酸) コポリマー



キャラデコ クイックプレックス
(酸化染毛剤用補助料)

Straightperm for Flexible Design

MARCCONTI

前処理アイテム

第1剤(液)の浸透を防ぐ、減力用のアイテムです。毛髪のデリケートな部分にあらかじめ塗布しておくことで、毛髪の過酸化を防ぐことができます。



マークコンティ 0 クリームタイプ

化粧品タイプ

弱いクセの矯正や中間から毛先の既処理部に対応したアイテムです。軟化度合いが予測しやすく、特にダメージ毛でも使いやすい設計です。



マークコンティ 50 クリームタイプ
・第1液・第2液

チオタイプ³ 高温整髪用アイロンを使用するコールド二浴式縮毛矯正剤

新生部の縮毛に対応した、強いタイプの100と、硬い髪や頑固な縮毛の新生部に対応できる、よりパワーを持った120です。



マークコンティ **医薬部外品**
・100 第1剤クリームタイプ
・120 第1剤クリームタイプ
・100/120 共通第2剤クリームタイプ



販売名: ナカノ N ストレート K 第1剤
ナカノ N ストレート J 第1剤
ナカノ N ストレート L 第2剤

